

科目名		神経内科学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年	必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

神経・筋疾患の概要と、各疾患における症状発現のメカニズムを理解する。

〔授業全体の内容の概要〕

神経内科は、脳、脊髄、末梢神経、骨格筋におこる疾患を内科的に診断、治療する診療科である。その疾患は多岐にわたり、さらにその多くが理学療法の対象となる。神経内科では、病変の種類もさることながら、それが神経組織のどの部分に生じたかによって、その機能障害度や予後が大きく変わる。したがって、運動麻痺や感覚障害などの臨床症状から、その障害部位を特定する「局在診断」が重要である。神経内科学の講義では、総論として神経症候学を詳説することで、この局在診断の概念と手技について十分に理解し、その後に各論としてそれぞれの疾患の

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

脳神経系の機能解剖学を理解し、代表的な神経内科疾患それぞれの、原因、症状、検査所見、治療方針を述べることができる。

回数	講義内容
1	中枢神経系・末梢神経系の解剖と機能
2	神経学的診断と評価
3	神経学的検査法
4	神経症候学(錐体路徴候・錐体外路徴候)
5	神経症候学(運動失調・不随意運動・感覚障害)
6	神経症候各論(変性疾患・脱髄疾患・錐体外路疾患)
7	神経症候各論(筋疾患・感染性疾患)
8	神経症候各論(脊髄損傷・末梢神経障害)
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学	川平和美編	医学書院

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

筆記試験により評価する。